

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【男子】 第9節 第18日

開催日時 10月12日(月) 会場 日光市ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00～

法政大学	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	駿河台大学
2勝 1分 10敗 勝点 7			勝点 6	2勝 0分 10敗

第2試合 11:40～

ALDER飯能	2	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	岐阜朝日クラブ
7勝 2分 4敗 勝点 23			勝点 18	6勝 0分 7敗

第3試合 13:20～

診療印刷	3	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	LIEBE栃木
7勝 4分 2敗 勝点 25			勝点 2	0勝 2分 11敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

法政大学 1  $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$  0 駿河台大学

勝点 7      勝点 6  
2 勝 1 分 10 敗      2 勝 0 分 10 敗

得点	法政→34分鈴木		
戦評	<p>駿河台のセンターパスにより試合が開始された。静かな立ち上がりの中、両者とも互角の攻防が続く、チャンスをつくるが得点にはつながらない。                  第2Qも両者一步も譲らず、0-0のまま第2Qを折り返した。                  第3Qに入り、試合が動いた。34分、法政FW#14鈴木がゴール前でパスを受け、落ち着いてプッシュシュートで決め、先制点をあげた。                  第4Q、追加点のほしい法政、追いつきたい駿河台ともにPCから何度もチャンスをつくるが、両者とも決定打に欠け、そのまま1-0で法政が勝利し、勝点7とした。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	元宗 宏寿
ジャッジ	木村 正直・矢代 直輝・志村 直毅		児玉 茂樹

第2試合

ALDER飯能 2  $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$  0 岐阜朝日クラブ

勝点 23      勝点 18  
7 勝 2 分 4 敗      6 勝 0 分 7 敗

得点	飯能→15分塚田、39分北里		
戦評	<p>岐阜のセンターパスにより試合が開始された。試合開始より激しい攻防となり、見応えのある展開となり互角の戦いが続いたが、第1Q終了間際の15分、飯能がPCから#3塚田が見事なプッシュシュートを決め先制する。                  第2Qに入っても両者スピード感あふれる試合展開となる。序盤は飯能が押し気味に進めるも得点できず、終盤は岐阜も攻め込んだが、飯能の落ち着いた守備の前に得点を奪うことができない。試合は1-0のまま飯能リードで第2Qを折り返した。                  第3Qに入り、岐阜が押し気味に進めるが、39分、集中を切らさない飯能が素早いパス回しから左サイドでFW#11北里がリバースシュートを決め、追加点を奪う。                  第4Q、追いつきたい岐阜が必死の攻撃を仕掛けるが、飯能が最後まで守り抜き、2-0のまま飯能が勝利した。飯能は勝点23とした。</p>		
テクニカルオフィサー	駒田 文雄	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	星 めぐみ・藤井 峻・山口 悟		近藤 聡史

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

診療印刷 3  $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$  0 LIEBE 栃木

勝点 25      勝点 2  
 7 勝 4 分 2 敗      0 勝 2 分 11 敗

PC	
シュート数	

得点	診療→2分生方、15分村田、31分星		
戦評	<p>社会人対決となった栃木対診療は、地元栃木のセンターパスで開始された。開始早々2分、診療の#8生方がドリブルで切り込み、技ありのループシュートを決め先制点を取った。続く15分、診療がセットプレーから#6村田が素早いヒットシュートを決め追加点を奪い2-0で第1Qが終了した。</p> <p>第2Q、何とか1点を取りたい栃木はサイドから攻撃を仕掛けるが、診療の落ち着いた守備に阻まれ得点できない。得点は2-0のまま第2Qを折り返した。</p> <p>第3Q開始早々の31分、診療#7星がヒットシュートを決め、3-0となり栃木を引き離す。</p> <p>第4Qに入り、栃木は地元の応援に後押しされ、気迫あふれるプレーを見せPSを獲得するが、シュートは惜しくもゴール左下に外れた。最後まで挑戦した栃木であったが、診療の落ち着いた守りを崩すことができず、診療が3-0で勝利した。診療は勝点25とした。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	木下 英貴
ジャッジ	東 尚人・湯澤 望・鈴木 明美		渡邊 道彦